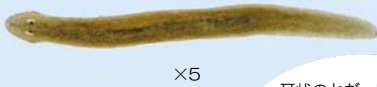


川の生きものを調べよう

水生生物による水質判定

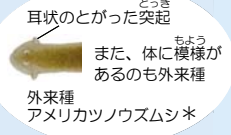
I きれいな水



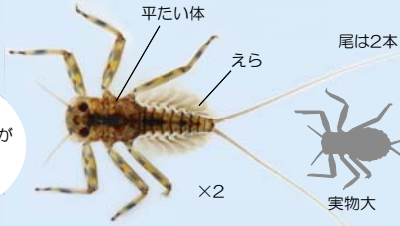
実物大

ナミウズムシ

石の表面にはりついていて、伸び縮みする
中・下流部には外来種がいることがある



また、体に模様があるのも外来種
外来種 アメリカンウズムシ



ヒラタカゲロウ類

流れの速い石の表面にはりついている



実物大

カワゲラ類

体ががんじょうな感じがする
石の下やすき間にいる



アミカ類

腹面に吸盤があり、急流の岩や石にはりついている



実物大

サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色のものがあるが、
同じ種類である

頭は赤～茶色
(クロスヘアヒトンボは黒)

扇状のえら
(クロスヘアヒトンボはなし)



ヒトンボ

実物大

流れの速い石の下にひそんでいて、
えものをおそう



ブコ類

急流の岩や石に吸盤ではりついている
集団をつくり、石が黒く見えることもある



×3

実物大



×3

実物大

ナガレトビケラ類

流れの速いところにいる



実物大

ヤマトビケラ類

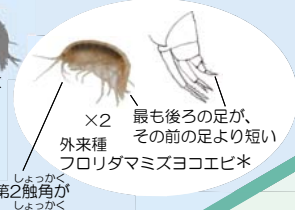
流れの少しゆるやかなところの石面に多い



第2触角が
第1触角の1/2以上

ヨコエビ類

上流の石の下や水中に
たまった落葉の間にいる



第2触角が
第1触角の1/2

最も後ろの足が、
その前の足より短い
外来種
フロリダミスヨコエビ



タニガワカゲロウ類

体はヒラタカゲロウ類に似ている
流れの速いところにいる

I, II両方でみられる水生生物 (指標種ではない)

II ややきれいな水

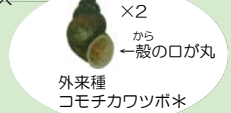


実物大

カワナナ類

流れの少しゆるやかなところにいる
外来種のコモチカツボキは数mmと小型

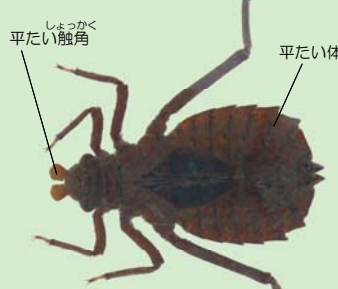
×0.5



外来種
コモチカツボキ

一般の口が丸

一般の口がひし形



コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



ヒラタドROMシ類

石の表面にはりついている



ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める
体色は茶～黒色



ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところ
の石面にいる



×3

実物大



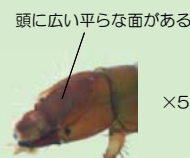
ゲンジボタル

流れが少しゆるやかなところにいる
カワナをえさとする



ゲンジボタル

ヘイケボタル



×5

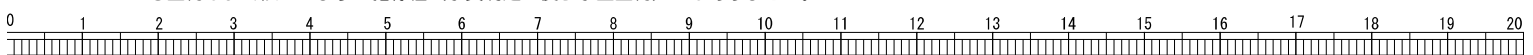


×2.5

オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。



III きたない水



ミズムシ

落葉のあるところではきれいな水にもいる



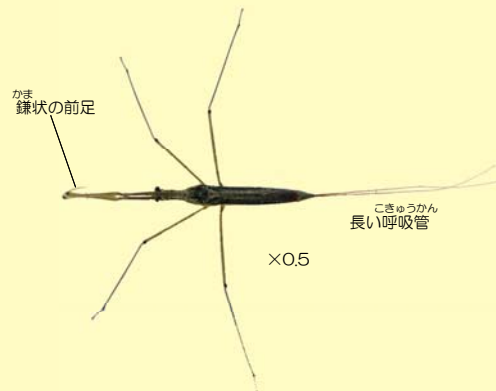
シマイシビル

背中に縦縞模様があるの伸びたり縮んだりする尾の先に吸盤がある



タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミズカマキリ

川では川岸の草の中などにいる

IV とてもきたない水



エラミミズ

尾部にえらがある流れのゆるやかなところにいる



サカマキガイ

多くの巻貝と違い、左巻き流れのゆるやかなところにいる



アメリカザリガニ

北アメリカ原産の外来種流れのゆるやかなところにいる



ユスリカ類

腹部に2対(4本)または1対(2本)のひも状のえらがある。瀬でみられる赤いユスリカはセスジユスリカやハイロユスリカが多い



チョウバエ類

尾部、腹部背面にかたい部分(キチン板)がある

きすい いまき 汽水域(海水が混じているところ)

II ややきれいな水



イシマキガイ

石や護岸にはりついている淡水域にもいることもある

ヤマトシジミ

砂や泥の中にいる淡水域にはマジミ*や外来種のタイワンシジミ*がいる

III きたない水



イソコツブムシ類

石の下にいるさわると丸くなる

ニホンドロソコエビ

泥の上や中にいる河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。